

平成25年度

# 専門委員会だより

神戸市PTA協議会

2014年1月号

## 専門委員長会を開催

専門委員会活動も半分が過ぎたところで、委員長の皆さんが集まり、情報交換を行いました。

参加された専門委員長（敬称略）

研修	別所 敬介（有馬小）
広報	山下 雅朗（有馬中）
健全育成（副）	奥野 紀子（向洋中）
家庭教育	木戸 美智代（白川台中）
組織・運営	合田 昌宏（真陽小）急遽欠席

神戸市PTA協議会には、市P協の専門委員会活動方針に基づいた研修をしていながら、区や校種を超えたつながりを持ち、情報の共有と内外へ提供することで、PTAとしての資質向上を目指すために作られた、専門委員会があります。

専門委員会は5つあり、それぞれの特徴ある活動や、研究を行っています。今、専門委員会ではどのような活動をしているのかを教えてくださいました。

組織・運営専門委員会は、校種や地域性の違いのなかで、単Pの問題や悩み、画期的な行事やアイデアなどの話題を出し合い、情報交換の中で良いものは吸収できる会議を進めています。

退屈な会議にならないよう、グループ討議をワールドカフェ方式<sup>①</sup>で行うなど、正副委員長で、

平成25年12月17日（火）  
神戸市総合教育センター

毎回工夫して、活気ある委員会を開催しています。

テーマは、「役員選出」「PTA運営」など、なかなか正解の出ない内容ですが、話をしていく中で、委員さんが何かヒントを得られればと思って進めています。



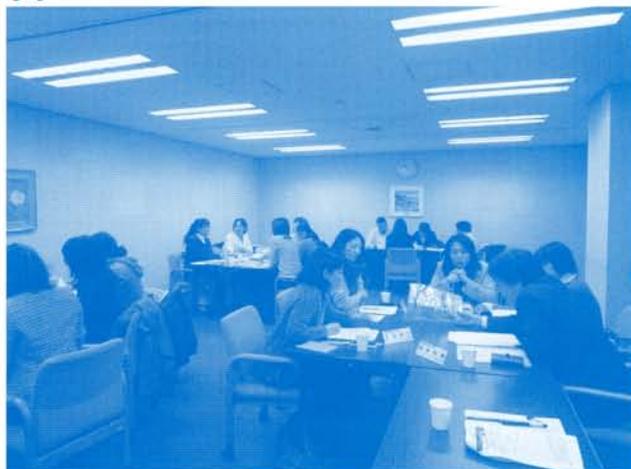
組織・運営「ワールドカフェ」後の発表

研修専門委員会は、毎年1～2月頃開催される「5校種合同研修会」を企画運営します。その内容やテーマ、また準備や役割などを話し合いながら進めていきます。その前に行われる教育委員会主催のPTA人権研修会での運営の手伝いの経験を活かします。



12月12日「PTA人権研修会」(市教委)

今年の研修会は、講演会形式をやめ、大会形式で行うことになりました。テーマは「大人のどうとく」で、はじめに、市立淡河中学校校長 田原唯志先生の基調講演があり、続いてのA～Dの分科会では、防災や、スマホ、日本の伝統、傾聴力などの切り口で「大人のどうとく」を考えていきます。分科会テーマは、委員会で何回かグループ討議し、今PTAとして保護者として気づいていただきたい事、知っていただきたい事を浮き彫りにしたものです。企画も運営も委員で行うため、例年よりも段取りや準備に忙しいですが、参加者に満足していただけるよう、委員長はじめ委員全員、やる気一杯で活気にあふれて会を進めています。



研修「5校種合同研修会」の内容を詰める。

広報専門委員会は、市P協の機関紙「PTA神戸」の年間発行分のうち2回を担当し、テーマに沿って記事集めや構成、編集を行ないながら市P協活動の広報の役目を担っています。

前半の10月号では、近畿ブロック神戸大会の開催直前のPRと、夏のイベントの報告、特集は「知ってる?PTAのこと」というテーマで、新しくPTAを立ち上げた会長さんの、当時の努力や考え方を取材し、PTAの目的や必要性を再認識できるような内容を取り上げました。

後半は2月中旬に発行予定で、現在、取材や記事集め、編集にと奮闘中です。年度ごとの委員会らしい特色ある「PTA神戸」が作成されます。3月以降は広報紙コンクールの運営も行うため、回数も多いですが、年度いっぱいまで頑張っていきます。



広報「PTA神戸」発行に向けての編集会議。

健全育成専門委員会は、「子どもたちをPTAや地域の立場で育成していくこと」をテーマに毎回熱い論議を尽くしています。

大勢の前ではなかなか思ったことが言いにくいのではと感じ、少人数のグループ討議を重ねて来ました。メンバーはくじ引きで毎回シャッフルし、テーマは「子どもを取り巻く様々なこと、子育ての悩み」について思い付くままにいろいろな顔ぶれで話し合いました。話し合っていくうちに「ケータイ・スマホ」「親の力」「PTAとして学校・地域との係り」の3点にテーマが絞られてきて、保護者としてPTAとして関心がある所は何かが明確になったようです。12月で討議は終了し、1月からまとめていこうと考えています。

家庭教育専門委員会は、保護者として家庭でどのように子育てにかかわっていくべきかを研究しています。

会議のテーマや進め方は、市P協の規約や基本方針に則っていれば、委員会に会議内容は任されています。今年は年間テーマを「聞こう!話そう!!」と決め、毎月小テーマを決めて話を進め

ています。話のキャッチボールができなくてもいい、子どもたちに声をかけよう！と、例えばある月は ①家庭の笑顔を増やそう！ ②子どもに笑顔を伝えよう！ ③我が家の家庭内ルール（夏休み中に各家庭でルールを作ってみよう！）など、子どもの年齢が高くなるにつれて難しいことや、反抗期について話し合ってみたりもしました。また、毎回必ず家族写真の披露とそのエピソードを話してもらいます。新たに写真を撮ることで家族や子どもとのコミュニケーションが取れたなど一家団欒の一助となっているようでうれしく思います。今日も来てよかったと思える委員会を目指します。



家庭教育「自分が楽にできる時間」を話し合う。

**専門委員長会は、**委員長同士が情報交換をすることで、各専門委員会を運営する上でのヒントを得たり、うまくいかないことを吐露し合ったり励まし合ったりできる場を持つために不定期に開催しています。

今回は、毎回、会議を進めるうえで困っていることや、委員会での運営についての工夫。他の委員会でもできそうなヒント、自分の専門委員会の特徴や自慢などを教えていただきました。

（家教）初めは家庭教育の委員長なんて自分なんかには務まるのかと思ったが、話し合っていくうちに皆同じように失敗したり悩んだり…とわかってちょっと気が楽になった。

（健育）有意義な会議にしていくのは私たち委員自身だとわかった。とにかく話し合ってもらえる事を中心に、テーマトーク、フリートーク、グループ分け等そのための方法を正副委員長で考えた。

（研修）自分の思いばかり言う委員会ではなく、人の話を聞く委員会に。例えば「スマホ」の悪い使い方ばかりとり上げず、いい使い方を教え合うなど。皆さん積極的な方ばかりだが、皆の話を聞く態度は素晴らしい。最初に委員さんに今年何がしたいか、何に関心があるかのアンケートを取っ

たので、委員さんの思いや考えが良くわかった上で、1月30日の5校種合同研修会につなげた。

（広報）広報や研修はある程度、目的がある委員会だが、他3つの委員会は研究していくことで結果を見出す。また自己研鑽の場でもある。今年はこの委員会でもスマホ・ケータイに関する話題になる。LINEなどの話で盛り上がっているようだ。

（健育）携帯・スマホを子どもに正しく使うために、何が悪いのか。売る方が悪い、親の責任、など様々な意見が出る。

（研修）携帯・スマホに関してはもちろん、会議では「物の言い習わし」について、昔は「〇〇するとばちが当たる」「おてんとう様が見ている」など言えば、親の言うことを聞いていたという話があった。「5校種合同研修会」の分科会でも取り上げる。

（家教）話し合いの場の工夫として組織・運営で行った「ワールドカフェ方式」は参加者が各グループテーブルを回りながら、そのテーブルのテーマで話し合ったことをテーブルに設置した模造紙に書き残すやり方。短い時間で多くの話ができる。発表者を順番に担当するため、全ての人がみんなの前で話すので、やりがいを感じてもらえる。家庭教育では一つの話に深く入り込みすぎるので、次回やってみたいと思っている。

（健育）いろいろな会議の方法があるが、具体的な成果にこだわらず話を詰めていきたい。

（広報）どこの委員会にも副委員長以外にキーマンがおられる。その方にも助けてもらう。

（研修）休んだ方にもキーマンがフォローしてくれたりする。ありがたい。

（家教）委員会に一回だけ、または全く来られない人もおられるが、それぞれの事情と割り切って進めていくしかない。

（広報）昼間働くことが男女関係なく当たり前になっている時代に委員さんは本当に良く来ていただいていると感謝する。

（全員）同感です。



専門委員長会

### 3月は総会（活動発表会）を行い、 専門委員会の会議活動は終了です。

各専門委員会の2月の会議では、3月の第2回総会で報告する内容や資料を具体的に決めたり、発表形式の準備を行ったりするため、会議での話し合いも、そろそろまとめる方向へと向かって行きます。総会では、委員会としての活動を通じて、何を作り上げたのか、委員それぞれが何を得たのかにポイントが絞られた発表となります。第1回目の総会とは違って、委員同士の連帯感や達成感、楽しさが伝わる総会です。この総会は、活動発表会として一般会員の方も参加応募できますので、次年度に専門委員会に係る予定の方は是非ご覧になっていただきたい内容です。

① **ワールドカフェ**：アニータ・ブラウン氏とデイビッド・アイザックス氏によって、1995年に開発・提唱した。

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法。

□本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行う。

□自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえる。

□メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる。

参考：ワールド・カフェ・ネット（World Cafe Net）

 **神戸市PTA協議会**

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町1-3-2

神戸市総合教育センター内

TEL(078)360-3453